



## 5. 条件等

(1) 参加資格のない社等：特になし

(2) 必要予防接種：

黄熱：入国に際してイエローカード（黄熱病予防接種証明書）が必要です。

## 6. 業務の背景

ブルキナファソ国では、初等教育の機会拡大に重点的に取り組み、就学率向上などの成果が見られる。一方、留年率の高さや学習到達度の低さなどの課題が残っており、「基礎教育開発戦略プログラム（PDSEB：2012-2021）」では、初等教育の質の強化を重点分野としている。教育の質の低さの理由としては、1教室あたりの児童数が過剰であること、教員の能力不足、教育行政官（視学官等）の支援体制が不十分であること、児童の親の教育への関与度が低いこと、カリキュラムの内容が過剰であること等が挙げられる。

ブルキナファソでは、板書中心の暗記・詰め込み型の授業が多く行われており、教員の教授能力の向上が課題となっている。授業の質を向上するための現職教員研修（INSET）は、近隣の学校が月に1回集まる教員分科会（GAP）での研修が中心であり、内容の質や時間が十分でない。

JICAは、2008年1月から2011年1月までの3年間、ブルキナファソ国国民教育・識字省（MENA・旧基礎教育識字省（MEBA））をカウンターパート（C/P）機関として、「初等教育・理数科現職教員研修改善プロジェクト（SMASE）」（以下「フェーズ1」）を実施した。プロジェクトが実施したカスケード型研修により、ASEI-PDSI（学習者中心アプローチ）の普及を通じて、対象4県の視学官とGAP代表者（主に校長）を能力強化し、GAP研修の質を改善することで教員の能力向上を図り、教室での授業実践が改善した。

MENAは、フェーズ1の取り組みを高く評価し、その成果の全国拡大と、授業の質の向上を持続させる仕組み作りに対する支援を、我が国に要請した。これを受け、JICAはMENAをC/P機関として、2012年1月から2015年9月まで3年9ヶ月の予定でフェーズ2を開始し、現在2名の長期専門家（理数科教育、業務調整/研修運営）を派遣中である。同フェーズ2では、授業評価ツールの改訂、研修内容の改善、カスケード型研修実施、GAP研修及び授業モニタリング・評価支援、授業好例の収集を目的とした理数科コンテストの開催、プロジェクト効果の持続性確保のための制度強化（授業好例の収集・フィードバックの仕組み作り、教員養成への活用）等を行っている。

指導案作成は教員の業務として義務付けられているが、教員組合からの要求により、MENAの基礎教育総局（DGEB）が設置した授業準備委員会が全教科に関する指導案を作成、配布することになった。

しかし、現場の教員が指導案を実践するためには授業前に学習活動のイメージを持つことが重要であり、教員だけでなく、実践指導を行う視学官に対しても実践好例のビデオを見せることで、その能力強化を図ることを計画している。併せて、実践の優れた点と改善点を抽出し、解説を入れたビデオ、及び解説書も研修教材とすることを想定しており、本専門家が作成する教員研修教材として以下3点を想定している。

### (1) 実践好例のビデオ

（作成にかかる留意点）

- ①算数と理科の計6授業（低学年・中学年・高学年の2学年ごと）を含む、プロジェクトの中央研修講師による授業前の評価重点ポイントの整理、及び授業後のフ

フォローアップの様子を撮影する。

- ②撮影に際しては、教員と児童それぞれの活動に焦点を置く。
- ③編集作業については、中央研修講師等とともに行う。

## (2) 解説付きのビデオ

(作成にかかる留意点)

- ①上記(1)①の計6授業の中から実践の優れた点と改善点を抽出する。
- ②撮影にあたっては、「教員による評価重点ポイントの指定」、「教員による授業後の自己評価」、「中央研修講師による評価」、「教員による授業改善案の提示」、「中央研修講師による改善提案」等に留意する。

## (3) 解説書

(作成にかかる留意点)

- ①実践技術の好例を各授業から抽出する。
- ②「模範指導案」、「中央研修講師による評価ツールの結果」、「実践技術の好例と改善点」、「教科書の効果的な使用法」、「教材準備の方法」、「時間を意識した学習活動の実践技術」を意識した学習活動の実践技術等を掲載する。

## 7. 業務の内容

本業務従事者は、視学官及び教員に対する研修用視聴覚教材の作成について、C/Pと協力しつつ成果品を完成させる。

具体的担当事項は次のとおりとする。

### (1) 国内準備期間 (2014年1月中旬)

- ①プロジェクト関係資料 (PDM、詳細計画策定調査報告書、事業進捗報告書、ホームページ等) のレビューを通じて、プロジェクトの概要及び活動進捗状況を把握する。
- ②プロジェクトから提供される研修用視聴覚教材の概要案 (和文及び英文または仏文) を確認する。
- ③撮影・録音・編集に必要な機器や現地人員の調達について、現地調達事情等を勘案しつつ、JICAブルキナファソ事務所および人間開発部と調整する。
- ④現地派遣期間における業務方針・方法等に係るワークプラン (和文及び英文または仏文) を作成し、JICA人間開発部へ提出の上、協議を行う。

### (2) 現地派遣期間 (2014年1月下旬～2014年3月中旬)

- ①現地業務開始時に、C/P機関、JICAブルキナファソ事務所、及びプロジェクト専門家にワークプランを提出の上、協議を行う。
- ②研修用視聴覚教材は、C/P及びプロジェクト専門家と連携しながら、以下の通りに作成する。また、教材作成にあたり必要な現地スタッフ (通訳、撮影補助要員) の配置や現地業者の手配を行う。
  - ア) C/P及びプロジェクト専門家との、視聴覚教材の作成方針、ニーズの把握、スケジュール、役割分担の協議および合意
  - イ) 研修用視聴覚教材に関するシナリオ、全体構成、レイアウトを含む完成品のイメージ作成、イメージの関係者間への共有、及び現地業者委託内容の作成

- ウ) 撮影・録音・編集機器のセットアップ
- エ) 上記(ウ)で完成したシナリオに基づく視聴覚教材の作成準備（機材準備、撮影計画策定、アポイントメント調整等）
- オ) プロジェクト活動や関係者インタビューの撮影・録音等、視聴覚教材の製作に必要な素材の収集・製作
- カ) 上記(オ)で収集した素材の編集及び視聴覚教材の制作
- キ) 上記(ア)～(カ)で制作した研修用視聴覚教材の、C/P機関及びプロジェクト等に対する発表。必要に応じた修正、研修用視聴覚教材の完成
- ③現地業務完了に際し、C/P機関、プロジェクト専門家及びJICAブルキナファソ事務所に対し、業務の進捗、達成度、助言、提案等を含む現地業務結果報告書（和文及び、英文または仏文）を作成、提出し、現地業務結果の報告を行う。

- (3) 帰国後整理期間（2014年3月中旬～2014年3月下旬）  
専門家業務完了報告書（和文）を作成し、監督職員に報告する。

## 8. 成果品等

業務の実施過程で作成、提出する報告書等は以下のとおり。

- (1) ワークプラン（和文、及び英文または仏文4部：監督職員、プロジェクトチーム、JICAブルキナファソ事務所、C/P機関）
- (2) 研修用視聴覚教材  
授業ビデオDVD（編集可能な媒体および不可能な媒体）及び解説書冊子 各3部（C/P機関、JICA人間開発部、JICAブルキナファソ事務所）  
記載項目は以下のとおり。
- (3) 現地業務結果報告書  
英文または仏文3部（C/P機関、JICA人間開発部、JICAブルキナファソ事務所）
- (4) 専門家業務完了報告書（和文3部）  
記載項目は以下のとおり。
  - ①業務の具体的内容
  - ②業務の達成状況
  - ③業務実施上遭遇した課題とその対処
  - ④プロジェクト実施上での残された課題（各種研修教材の作成にかかわるもの）
  - ⑤その他

C/Pやプロジェクト専門家と協力して作成した「研修用視聴覚教材」を参考資料として添付すること。体裁は簡易製本とし、電子データを併せて提出することとする。

## 9. 見積書作成に係る留意点

本公示にかかる見積書の積算を行うにあたっては、「JICAコンサルタント等契約見積書作成の手引き」

（<http://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/quotation.html>）

を参照願います。

留意点は以下のとおり。

- (1) 航空賃及び日当・宿泊料等

航空賃及び日当・宿泊料等は契約に含まます（見積書に計上して下さい）。

## 10. 特記事項

### (1) 業務日程／執務環境

#### ①現地業務日程

現地派遣期間は2014年1月26日～2014年3月16日を予定していますが、ある程度の日程調整は可能です。

#### ②現地での業務体制

本業務に係る現地プロジェクトチームの構成は、以下のとおりです（本業務の現地作業期間に派遣されている専門家のみ記載しています）。

- ・理数科教育（長期派遣専門家）
- ・業務調整／研修マネジメント（長期派遣専門家）

#### ③便宜供与内容

プロジェクトチームによる便宜供与事項は以下のとおりです。

##### ア) 空港送迎

あり

##### イ) 宿舎手配

あり

##### ウ) 車両借上げ

必要な移動に係る車両の提供（市外地域への移動を含む。）

##### エ) 通訳備上

あり

##### オ) 現地日程のアレンジ

プロジェクトチームが必要に応じアレンジします。

##### カ) 執務スペースの提供

教育省内プロジェクトオフィスにおける執務スペース提供（ネット環境完備）

### (2) 参考資料

本業務に関する以下の資料が当機構図書館のウェブサイトで公開されています。

- ・プロジェクト概要  
(<http://www.jica.go.jp/project/burkinafaso/003/index.html>)
- ・「ブルキナファソ 初等教育・理数科現職教員研修改善計画終了時評価調査報告書」
- ・「ブルキナファソ 初等教育・理数科現職教員研修改善計画実施協議報告書（付第一次・第二次事前評価調査報告書）」
- ・「ブルキナファソ 初等教育・理数科現職教員研修改善プロジェクト・フェーズ2（SMASEブルキナ2）実施協議報告書」
- ・「基礎教育セクター 各国&総合分析報告書（アフリカ11カ国&中米2カ国）」
- ・プロジェクト基本情報（ナレッジサイトトップ>プロジェクト情報>スキーム別&国別一覧>プロジェクト基本情報）

### (3) その他

- ①業務実施契約（単独型）については、単独（1名）の業務従事者の提案を求めている制度ですので、複数の業務従事者によるプロポーザルは無効とさせていただきます。

- ②ブルキナファソ国内での活動においては、JICA安全管理措置を遵守するとともに、JICA総務部安全管理室、JICAブルキナファソ事務所の指示に従い、十分な安全対策措置を講じることとします。
- ③仏語で業務を行うことが望ましいが、英語でも可。その場合、プロジェクトがJICAブルキナファソ事務所の協力を得て現地通訳（英語⇄仏語）を備上する予定。
- ④教育分野における啓発又は研修用教材（ビデオ・冊子）の撮影・編集等のメディアに関する各種経験があることが望ましい。
- ⑤視聴覚教材作成（撮影・録音・編集）に係る一般的な機材（デジタルビデオ、パソコン、編集用ソフト等）は、プロジェクト及び現地再委託先で所有しているものを利用する。ただし同業務のために機材の追加が必要と認められる場合にはプロジェクト経費によりレンタル等で対応する。

以上